

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2019-97810 (P2019-97810A)

【公開日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-024

【出願番号】特願 2017-231046 (P2017-231046)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 19 日 (2019.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

役の抽選を行う役抽選手段と、

前記ストップスイッチが停止操作されると最大移動図柄数の範囲内においてリールを停止制御するリール制御手段と

を備え、

前記リール制御手段は、所定の遊技状態では、前記複数のリールのうちの少なくとも 1 つの特定リールに対し、前記最大移動図柄数が前記特定リール以外のリールと異なる停止制御を実行可能とし、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、前記複数のストップスイッチの停止操作順及び停止操作タイミングに応じて、第 1 の小役に対応する図柄組合せ 1 が停止表示する場合と、第 2 の小役に対応する図柄組合せ 2 が停止表示する場合と、遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない場合とを有し、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、図柄組合せ 1 又は図柄組合せ 2 が停止表示した場合は、特定数の遊技媒体を付与可能とし、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、前記特定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された場合は、前記特定リールに少なくとも図柄組合せ 1 に対応する図柄、又は図柄組合せ 2 に対応する図柄を停止表示させ、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、前記特定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された遊技では、図柄組合せ 1 が停止表示する場合と、図柄組合せ 2 が停止表示する場合と、遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない場合とを有し、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、前記特定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された場合に遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない割合は、前記特定リール以外の所定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された場合に遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない割合よりも低く、

前記所定の遊技状態における図柄組合せ 1 を停止表示可能な遊技において、回転中の前記複数のリールに各々対応する前記ストップスイッチが図柄組合せ 1 を停止表示可能なタ

イミングで停止操作されたにもかかわらず、停止操作された後に該停止操作された前記ストップスイッチに対応するリールに対する所定の回転不良により図柄組合せ 1 を停止表示することができないときでも、特定数の遊技媒体を付与可能とし、

前記所定の遊技状態における図柄組合せ 2 を停止表示可能な遊技において、回転中の前記複数のリールに各々対応する前記ストップスイッチが図柄組合せ 2 を停止表示可能なタイミングで回転中のリールに対応する前記ストップスイッチが停止操作されたにもかかわらず、停止操作された後に該停止操作された前記ストップスイッチに対応するリールに対する所定の回転不良により図柄組合せ 2 を停止表示することができないときでも、特定数の遊技媒体を付与可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、少なくとも 1 つのリールについてリールの停止時における最大移動図柄数が異なるように制御される所定の遊技状態において、ストップスイッチの操作に応じて停止表示される図柄組合せが異なるようにした遊技機に関するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来の遊技機において、2BB(MB)遊技中においてリプレイの抽選を実行し、リプレイの当選とストップスイッチの操作に応じて、リプレイが入賞する場合と小役が入賞する場合と有するようにした遊技機が知られている（たとえば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特許第 5240949 号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、前述の従来の遊技機では、2BB 遊技中においてリプレイに当選していない遊技では、リールの停止制御が同一であり、停止表示される図柄組合せも同一、かつ払出し枚数も同一であった。このため、2BB 遊技中におけるリプレイの非当選時は、遊技者の技量が発揮できないという問題がある。

本発明が解決しようとする課題は、所定の遊技状態における所定の遊技（たとえば 2BB 遊技中に入賞 ALL の状況下）において、遊技者の技術介入性を持たせることである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第3実施形態）は、

複数のリール（31）と、

複数のストップスイッチ（42）と、

役の抽選を行う役抽選手段（61）と、

前記ストップスイッチが停止操作されると最大移動図柄数の範囲内においてリールを停止制御するリール制御手段（65）と

を備え、

前記リール制御手段は、所定の遊技状態（2BB遊技中）では、前記複数のリールのうちの少なくとも1つの特定リール（中リール31）に対し、前記最大移動図柄数が前記特定リール以外のリールと異なる（特定リールは「1」、特定リール以外は「4」となる）停止制御を実行可能とし、

前記所定の遊技状態における所定の遊技（入賞ALLの状況下）において、前記複数のストップスイッチの停止操作順及び停止操作タイミングに応じて、第1の小役（小役01）に対応する図柄組合せ1が停止表示する場合と、第2の小役（小役02）に対応する図柄組合せ2が停止表示する場合と、遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない場合とを有し、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、図柄組合せ1又は図柄組合せ2が停止表示した場合は、特定数の遊技媒体（13枚のメダル）を付与可能とし、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、前記特定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された場合は、前記特定リールに少なくとも図柄組合せ1に対応する図柄（ベル、スイカA、チェリー、又はリプレイA）、又は図柄組合せ2に対応する図柄（スイカA）を停止表示させ、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、前記特定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された遊技では、図柄組合せ1が停止表示する場合と、図柄組合せ2が停止表示する場合と、遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない場合とを有し、

前記所定の遊技状態における所定の遊技において、前記特定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された場合に遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない割合（ $2 \times 375 / 8000$ ）は、前記特定リール以外の所定リールに対応する前記ストップスイッチが最初に停止操作された場合に遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない割合（ $2 \times 3975 / 8000$ ）よりも低く、

前記所定の遊技状態における図柄組合せ1を停止表示可能な遊技において、回転中の前記複数のリールに各々対応する前記ストップスイッチが図柄組合せ1を停止表示可能なタイミングで停止操作されたにもかかわらず、停止操作された後に該停止操作された前記ストップスイッチに対応するリールに対する所定の回転不良により図柄組合せ1を停止表示することができないときでも、特定数の遊技媒体を付与可能とし、

前記所定の遊技状態における図柄組合せ2を停止表示可能な遊技において、回転中の前記複数のリールに各々対応する前記ストップスイッチが図柄組合せ2を停止表示可能なタイミングで回転中のリールに対応する前記ストップスイッチが停止操作されたにもかかわらず、停止操作された後に該停止操作された前記ストップスイッチに対応するリールに対する所定の回転不良により図柄組合せ2を停止表示することができないときでも、特定数の遊技媒体を付与可能とする

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明によれば、遊技者のストップスイッチの操作に基づいて、図柄組合せ 1 が停止表示する場合、図柄組合せ 2 が停止表示する場合、及び遊技媒体の付与を行う図柄組合せが停止表示しない場合を設けたので、技術介入性を持たせることができる。